

新水道ビジョンにおける実現方策の設定方針について

新水道ビジョンにおける実現方策は、新水道ビジョンが示す50年から100年先の水道の理想像の具現化を目指し、関係者が取り組むべき方策として当面の間に実施すべきものとする。

加えて実現方策は、その到達点が、新水道ビジョンで示す「安全」「強靱」「持続」に係る方向性のいずれかに合致したものであり、これまでの新水道ビジョン検討会において示されてきた課題の解決に資するものとする。

新水道ビジョンでは、方策に取り組む主体に着目し、従来から推進してきた取り組みであって、関係者によってさらに取組を推進すべき方策のうち、当該主体の内部的な調整を経て実施できる方策、対外的な調整を経て他者と連携して実施できる方策についてそれぞれ設定するほか、従来の枠組みにとらわれることなく、新たな発想で取り組むべき方策についても設定することとした。

さらに、新水道ビジョンで示す、方策の推進要素に鑑み、「連携」によって到達点に至る方策、「挑戦」の意識をもって取り組むべき方策を、重点的な方策として、新水道ビジョンの中で具体的に設定することとした。

以上の方針から重点的な課題として設定した項目は以下のとおりである。

○関係者の内部方策

- ・ 水道施設のレベルアップ
- ・ 資産管理（アセットマネジメント）
- ・ 人材育成・組織力強化
- ・ 危機管理
- ・ 環境対策

○関係者間の連携方策

- ・ 住民との連携進
- ・ 発展的広域化
- ・ 官民連携の推進
- ・ 技術開発、調査・研究の拡充
- ・ 国際展開

○新たな発想で取り組むべき方策

- ・ 料金制度の最適化
- ・ 小規模水道対策
- ・ 自家用水道対策
- ・ 多様な手段による水供給